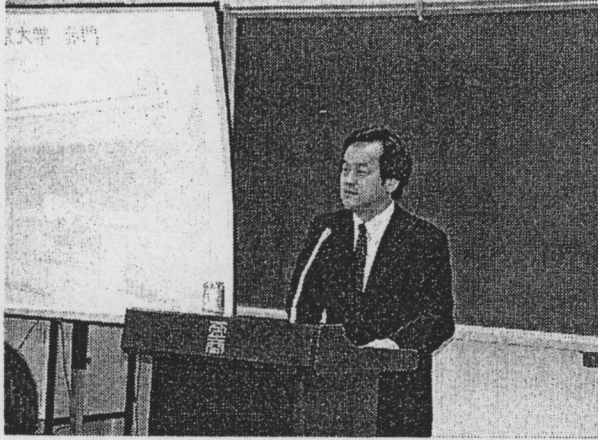


就職へ 夢忘れずに

東大研究所
玄田さん
高校生にエール
釜石



「困難の壁から逃げず、うろろうすること大切」と話す玄田有史助教授

釜石市の地域産業活性化セミナー「高校生の勤労意識啓発講演会」は二十二日、同市平田の釜石商高（斉藤静雄校長、生徒二百四十三人）で開かれた。卒業後の就職率が高い実業高の生徒を対象

に若者の勤労意識向上を図ろうと、東京大社会学研究所の玄田有史助教授（労働経済学）が「働くってどういふこと」と題して話した。

三年生七十九人と教師、保護者ら計約百人が参加。同研究所で希望学プロジェクト研究を進めている玄田助教授は「現代は夢や希望を持っても仕方がないと思う若者が多い」と指摘。しかし、アンケート調査などから希望を持ち続ける人はやりがいのある仕事に就く割合が高いという結果が出たことを挙げ「失望から新しい希望が生まれる」と指摘した。

やりがいに合う方法として▽自分と違う世界の友達をつくる▽あいつ

つをする▽分らないこと
から逃げずチャレンジ
するの三点が重要と説
いた。
玄田助教授は「学校を
三年間を送ってほし
にせず、基本を身に付け
る三年間を送ってほし
い」と生徒を激励した。